

Padding

Instagramに投稿するとき、写真に余白つけたいなーって思うこと、ありませんか？
Lightroom ClassicとかWebサービスを使えばできるけど、サブスクしてないとか信頼性が…ということもありますよね。そんな需要のために、Googleドライブを使って簡単に（？）余白付けができるコードを暇つぶしに書いたので共有してみます（そんな暇があるなら勉強しなさい）。お困りの方はどうぞ～



○仕様

- ・これが→こうなる（黒枠は付かない）
- ・縦横両方に対応
- ・既定解像度は1080pixel * 1080pixel（変更可、Instagramの最大サイズが1080pixel四方らしいのでこの値）
- ・長辺にも余白を付けるか（全周余白にするか）、その場合の余白比率は指定可

○使い方

- ①共有したpadding.jpyslと余白を付けたい写真を自分のGoogle Driveにアップロード
- ②padding.jpyslをGoogle Colabで開き、全てのセルを実行（Ctrl + F9、または"ランタイム"タブから選択）
- ③ファイル名を打ち込むなど、質問に答えていくと自然と枠付きの画像が生成されます。

○メモ

- ・Google Colabを使っているのは環境を揃えるのが大変だからです。ローカルでも同じことは可能なのでやりたい方はどうぞ。
- ・removesuffixを使っているのでPython 3.9以降でないと動きません。
- ・GitHub Repository; <https://github.com/tomoyukiharada/Padding.git>